

Digital Color Printer

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

UP-DR80MD

安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～10ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。

22ページの「本機の性能を保持するために」も併せてお読みください。

定期点検をする

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店にご連絡ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ① スタンバイ状態にしてください。
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜いてください。
- ③ お買い上げ店までご相談ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電



高温



手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



指示



アース線を接続せよ

目次

警告	4
注意	5

はじめに

本機の特長	11
主な使用例	11
各部の名称と働き	11
前面	11
裏面	12

準備

付属品を確認する	13
本機の持ちかた	13
コンピューターと接続する	14
接続する	14
コンピューターにプリンタードライバーを インストールする	14

操作

プリントする前に	15
インクリボンとプリント紙の取り扱いについて	15
インクリボンとプリント紙を取り付ける	16
インクリボンとプリント紙を交換する	19
プリントする	20

その他

本機の性能を保持するために	22
使用上のご注意	22
お手入れ	22
プリンター内部のクリーニング	22
使えるインクリボンとプリント紙	25
主な仕様	26
保証書とアフターサービス	27
故障とお考えになる前に	27
本体ランプ表示について	28
紙詰まりが起きたときは	30



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。



指示

表示された電源電圧で使用する

製品の表示と異なる電源電圧で使用すると、
火災や感電の原因となります。
日本国内では 100 V でお使いください。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因
となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間
に、はさみ込まない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしな
い。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしな
い。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ず電源プラグ
を持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店
またはソニーのサービス窓口にご依頼
ください。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所 では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電
の原因となります。取扱説明書に記されてい
る使用条件以外の環境での使用は、火災や感
電の原因となります。



水ぬれ禁止

水にぬれる場所で使用しない

水ぬれすると、漏電による感電発火の原因と
なることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となるこ
とがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに
⏻ オン/スタンバイスイッチを押してスタ
ンバイ状態にし、電源コードや接続ケーブル
を抜いて、お買い上げ店またはソニーのサー
ビス窓口にご相談ください。



分解禁止

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原
因となることがあります。内部の点検や修理
は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓
口にご依頼ください。

⚠ 注意

下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



付属の電源コードを使う

付属の電源コードを使わないと、火災や感電の原因となることがあります。



製品の上に乗らない、重いものに乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 壁から 10 cm 以上離して設置する。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ あお向けや横倒し、逆さまにしない。



不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



プリント直後サーマルヘッドに触れない

プリント直後は、サーマルヘッドが熱くなっている場合があります。触れるとやけどの原因となることがあります。



お手入れの際は、電源コードを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



アース線を接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。

次の方法でアースを接続してください。

- ・ 電源コンセントが3極の場合
付属の電源コードを使用することで安全アースが接続されます。
- ・ 電源コンセントが2極の場合
付属の3極→2極変換プラグを使用し、変換プラグから出ている緑色のアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。

安全アースを取り付けることができない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



指示

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続・配置してください。



指示

電源コードの電源プラグ及び電源コネクタは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまでさしこまないと、火災や感電の原因となります。



禁止

プリント紙排出口をのぞかない

プリント紙排出口からプリントされた紙が排出されますので、のぞきこむと失明やけがの原因となることがあります。プリント紙排出口はのぞかないでください。



手を挟まれないよう注意

メディアトレイに手や指をはさまない

メディアトレイを着脱するときに手や指をはさみ、けがの原因となることがあります。また、メディアトレイはしっかりと奥まで差し込んで使用してください。



指示

メディアトレイの出し入れは慎重に行なう

プリント紙が入ったメディアトレイは重くなります。両手で持ってメディアトレイの出し入れを慎重に行なってください。落としたりするとけがの原因となることがあります。



禁止

プリンター内部に手を入れない

メディアトレイを抜いた時に開口部から手を無理に奥に入れると、内部の突起や可動部によって、けがをするおそれがあります。



指示

プリント紙は縦置きする

横に置くと回転して落下し、けがの原因となることがあります。

医療環境で使用するための重要なお知らせ

1. 本機に接続する全ての機器は、安全規格の IEC 60601-1、IEC 60950-1、IEC 60065、あるいは機器に適用できる他の IEC/ISO 規格等に従って承認または適合しているものをご使用ください。
2. さらにシステム全体として IEC 60601-1 規格に適合していなければなりません。信号入力部分あるいは信号出力部分に接続する全ての周辺機器が医療用のシステムとして構成されるため、システム全体として IEC 60601-1 の規格要求に適合する責任があります。疑義がある場合には、ソニーの営業担当にご相談ください。
3. 他の機器と接続すると、漏れ電流を増加させる可能性があります。
4. この特定の機器のために、すべての周辺機器は上記のように接続し、IEC 60601-1 の構造要求と最小基礎絶縁を備えている追加した絶縁トランス経由で商用電源に接続してください。
5. この機器は無線周波エネルギーを発生、利用しており、周囲に放射する可能性があります。取扱説明書に従って設置、使用されない場合、他の機器に対して電磁波障害を引き起こすかも知れません。この機器が電磁波障害を起こす場合は（この機器から電源コードのプラグを抜くことにより確認できます）、以下の方法を試してください。
電磁波障害を受けている機器に対して、この機器を移動してください。この機器と電磁波障害を受けている機器を異なる電源系統のコンセントに接続してください。

ソニーの営業担当にご相談ください。

(適合規格：IEC 60601-1-2 と CISPR11、Class B、Group1)

医療環境で使用するための EMC に関する重要なお知らせ

- ・ UP-DR80MD は、EMC に関し特別に注意する必要がある、取扱説明書中で提供される EMC 情報に従って設置および使用する必要があります。
- ・ 携帯型および移動型の無線通信機器は UP-DR80MD に影響を与えることがあります。

警告

ソニー株式会社によって指定されたもの以外のアクセサリやケーブルを使用すると、UP-DR80MD のエミッション（電磁妨害の放射）増加やイミュニティ（電磁妨害の耐性）低下を招くことがあります。

指針および製造業者の宣言－電磁エミッション		
UP-DR80MD は、下記に規定した電磁環境での使用を意図しています。 お客様または UP-DR80MD の使用者は、それが下記の環境で使用されることを確認してください。		
エミッション試験	適合性	電磁環境－指針
無線周波エミッション CISPR 11	グループ 1	UP-DR80MD は、内部機能のためだけに無線周波エネルギーを使用しています。そのため、無線周波エミッションは非常に低く、近傍の電子機器を妨害することは、ほぼありません。 UP-DR80MD は、家庭および家庭用に使用される建物に給電する公共の低電圧配電網に直接接続されている建造物を含むすべての建造物での使用に適しています。
無線周波エミッション CISPR 11	クラス B	
電源高調波エミッション IEC 61000-3-2	クラス A	
電圧変動 / フリッカ エミッション IEC 61000-3-3	適合する	

警告

UP-DR80MD を他の機器と隣接または積み重ねて使用する場合には、その使用構成で正常に動作していることを確認する必要があります。

指針および製造業者の宣言－電磁イミュニティ


UP-DR80MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。お客様または UP-DR80MD の使用者は、それが下記の環境で使用されることを確認してください。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
静電気放電 (ESD) IEC 61000-4-2	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	床材は木材、コンクリートまたは陶製タイルとしてください。床材が合成物質で覆われている場合、相対湿度が、少なくとも 30% 以上であることを条件とします。
電氣的ファストトランジェント（高速過渡現象）/ バースト IEC 61000-4-4	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	± 2 kV 対電源線 ± 1 kV 対入出力線	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
サージ IEC 61000-4-5	± 1 kV 線間 ± 2 kV 線 - アース間	± 1 kV 差動モード ± 2 kV コモンモード	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。
電源入力ラインでの電圧ディップ、瞬停、および電圧変動 IEC 61000-4-11	< 5% U_T (> 95% ディップ、 U_T 時) 0.5 サイクルの間 40% U_T (60% ディップ、 U_T 時) 5 サイクルの間 70% U_T (30% ディップ、 U_T 時) 25 サイクルの間 < 5% U_T (> 95% ディップ、 U_T 時) 5 秒間	< 5% U_T (> 95% ディップ、 U_T 時) 0.5 サイクルの間 40% U_T (60% ディップ、 U_T 時) 5 サイクルの間 70% U_T (30% ディップ、 U_T 時) 25 サイクルの間 < 5% U_T (> 95% ディップ、 U_T 時) 5 秒間	電源の品質は、典型的な商用または病院環境のものを利用してください。 UP-DR80MD の使用者が、停電中も継続して運用することが必要な場合は、無停電電源装置またはバッテリーから UP-DR80MD に電源供給することを推奨します。
電源周波数 (50/60 Hz) 磁界 IEC 61000-4-8	3 A/m	3 A/m	電源周波数磁界は、典型的な商用または病院環境内の典型的な場所での特性レベルである必要があります。

備考: U_T は、試験レベルを加える前の交流電源電圧です。

指針および製造業者の宣言－電磁イミュニティ

UP-DR80MD は、下記の電磁環境での使用を意図しています。お客様または UP-DR80MD の使用者は、下記の環境で使用されることを確認してください。

イミュニティ試験	IEC 60601 試験レベル	適合性レベル	電磁環境－指針
伝導性妨害 IEC 61000-4-6	3 Vrms 150 kHz ～ 80 MHz	3 Vrms	<p>携帯型および移動型の無線通信機器は、ケーブルを含む UP-DR80MD のどの部分に対しても、無線通信機器の周波数に対応した式から計算された推奨分離距離以下に近づけて使用しないでください。</p> <p>推奨分離距離</p> $d = 1.2 \sqrt{P}$
放射無線周波電磁界 IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz ～ 2.5 GHz	3 V/m	<p>$d = 1.2 \sqrt{P}$ 80 MHz ～ 800 MHz</p> <p>$d = 2.3 \sqrt{P}$ 800 MHz ～ 2.5 GHz</p> <p>ここで P は送信機器メーカーによる送信機の最大出力定格を表し単位はワット (W)、d は推奨分離距離で単位はメートル (m) です。</p> <p>固定の無線送信機からの電磁界強度は電磁気の現地調査^aによって決定されますが、これは各周波数範囲^bにおいて適合レベル未満である必要があります。</p> <p>次の記号が表示された機器の近くでは、干渉が生じる可能性があります。</p> <div style="text-align: center;">  </div>

備考 1: 80 MHz および 800 MHz においては、高い方の周波数範囲を適用します。

備考 2: これらの指針は、すべての状況に適用するとは限りません。
電磁気の伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

a 固定の無線送信機、例えば、無線（携帯 / コードレス）電話基地局および陸上移動局、アマチュア無線、AM および FM ラジオ放送および TV 放送からの電磁界強度は、理論上、正確には予測することはできません。固定の無線送信機に起因する電磁環境を評価するために、電磁気の現地調査を考慮する必要があります。UP-DR80MD が使用される測定電磁界強度が適用される上記の無線適合性レベルを超える場合、UP-DR80MD が正常に動作していることを確認してください。もし異常な動作が観測される場合、UP-DR80MD の向きや場所を変えるとといった追加措置が必要となることがあります。

b 周波数範囲が 150 kHz ～ 80 MHz において、電界強度は 3 V/m 未満である必要があります。

携帯型および移動型の無線通信機器と、UP-DR80MD との間の推奨分離距離

UP-DR80MD は、放射無線妨害が制御される電磁環境内での使用を意図されています。お客様または UP-DR80MD の使用者は、携帯型および移動型の無線通信機器（送信機）と UP-DR80MD の最小距離を維持することによって、電磁干渉を防ぐことができます。最小距離は、下記に推奨されるように、通信機器の最大出力に従ってください。

送信機の最大定格出力 W	送信機の周波数による分離距離 m		
	150 kHz ~ 80 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	80 MHz ~ 800 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	800 MHz ~ 2.5 GHz $d = 2.3 \sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

上記に記載されていない最大出力定格の送信機については、推奨分離距離 d (単位：メートル (m)) は、送信機の周波数に適用される式を使用して決定できます。ここで P (単位：ワット (W)) は送信機の最大出力定格であり、送信機器メーカーにより指定されたものになります。

備考 1: 80 MHz および 800 MHz においては、高い方の周波数範囲の分離距離を適用します。

備考 2: これらの指針は、すべての状況に適用するとは限りません。

電磁気の伝搬は、建物、物体および人体による吸収や反射の影響を受けます。

警告

感電の危険を避けるため、必ず安全アース付きの電源コンセントに接続してください。

注意

本製品またはアクセサリを廃棄するときは、環境汚染等のリスクに配慮し、関連した地域または国の法律、および関連した病院の規則にしたがってください。

グラフィカルシンボルの説明



取扱説明書参照

本機にこのマークがある箇所は、本取扱説明書の指示にしたがってご使用ください。



このシンボルは製造業者を表し、隣接して製造業者名と住所が併記されます。



このシンボルは製造日付を表します。



このシンボルはシリアルナンバーを表します。



このシンボルは附属文書の版を表します。



このシンボルは、システムの各部分と同じ電位にするための、等電位端子を示しています。



保存・輸送温度

このシンボルは保存と輸送環境の温度制限を表します。



保存・輸送湿度

このシンボルは保存と輸送環境の湿度制限を表します。



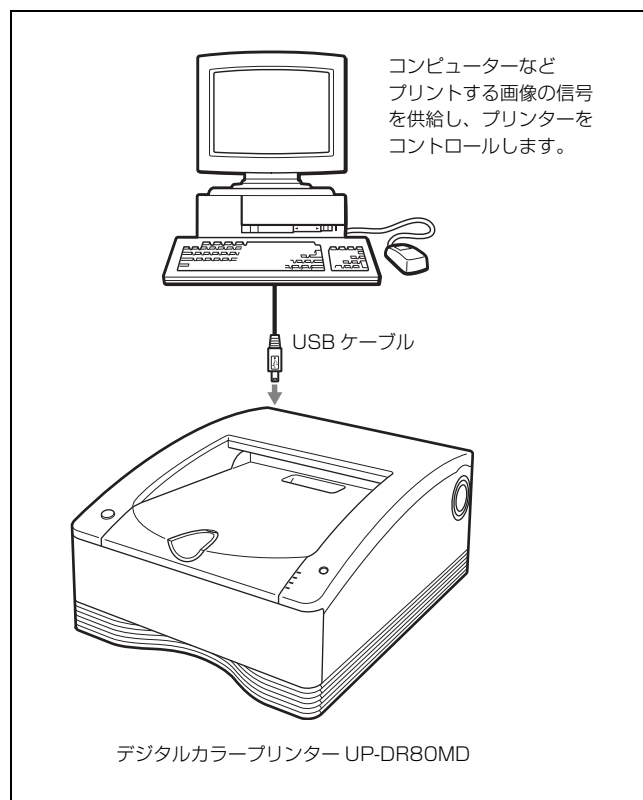
保存・輸送気圧

このシンボルは保存と輸送環境の大気圧制限を表します。

本機の特長

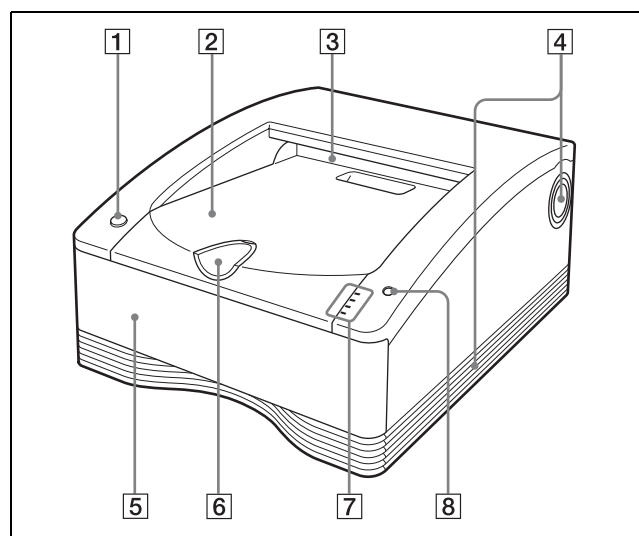
デジタルカラープリンター UP-DR80MD は、コンピューターなどから送られてくる画像データを A4/ レター版のプリント紙に、フルカラー（各色 256 階調処理、1670 万色）でプリントするための、高画質、高解像度の昇華熱転写型デジタルカラープリンターです。

主な使用例



各部の名称と働き

前面



1 オン/スタンバイスイッチ/ランプ

押すと、電源が供給され、ランプが点灯し、印刷可能状態になります。再度押すとランプが点滅してから消灯し、スタンバイ状態になります。

警告

本機は電源スイッチを備えていません。
主電源を切断するには、電源プラグを抜いてください。
設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。
電源プラグを抜くことが困難な場所に ME 機器を設置しないでください。
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

2 排紙トレイ

排出されたプリント画がここにたまります。

3 プリント紙排出口

プリント画が排出されます。

4 通風孔

5 メディアトレイ (16 ページ)

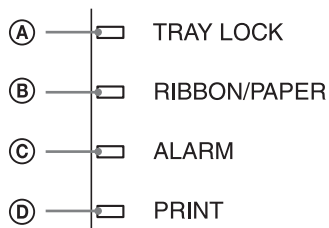
インクリボンとプリント紙を入れます。

6 排紙ストッパー (21 ページ)

排紙されたプリント画が排紙トレイから落ちるのを防ぐときに、このストッパーを立てて使用します。

7 ランプ

次のランプがあります。



① TRAY LOCK ランプ

メディアトレイを引き出すことができない状態のときに点灯します。

② RIBBON/PAPER ランプ

インクリボンやプリント紙に関わるエラー発生時に点灯します。

また、クリーニング中に点滅します。

③ ALARM ランプ

紙づまりなどのエラー発生時に点灯します。

④ PRINT ランプ

プリント中に点灯します。

TRAY LOCK ランプ点灯中はメディアトレイを引き出さないでください。破損の原因となります。

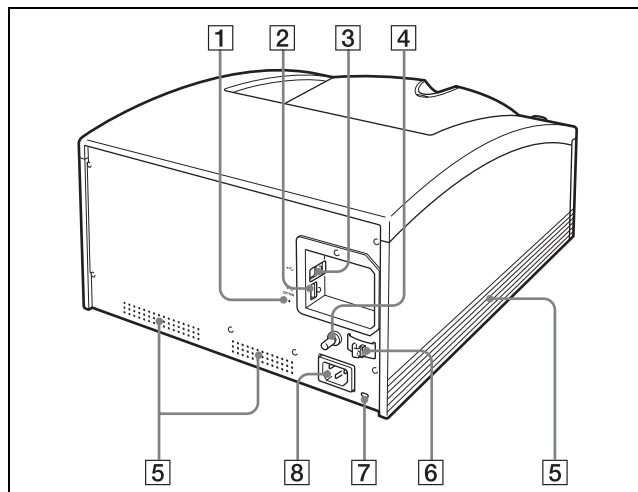
PRINT ランプ、ALARM ランプ、RIBBON/PAPER ランプ、TRAY LOCK ランプの点灯または点滅状態でエラーの発生箇所、原因がわかります。詳しくは「本体ランプ表示について」(28 ページ)をご覧ください。

8 STOP ボタン (21 ページ)

連続プリントを中止するときに押します。

現在プリント中のものが終了し、排出されるとプリンターは印刷可能状態になります。

裏面



① OPTION 端子 (タイプ A) ランプ

非対応デバイスが接続された場合に点滅します。

② OPTION 端子

別売りアクセサリに電源を供給するための端子です。

③ USB 端子

USB インターフェース (USB2.0 準拠) をもつコンピューターなどに接続して使用することができます。接続には USB ケーブル (付属) をお使いください。

④ 等電位端子

本機に接続したすべての機器の電位が等しくなります。

⑤ 通風孔

⑥ USB ケーブルクランプ (14 ページ)

接続したケーブルが抜けないように固定します。

⑦ セキュリティスロット

セキュリティワイヤーを取り付けることができます。

⑧ ~AC IN (電源入力) 端子 (14 ページ)

電源コード (付属) をつなぎます。

準備

付属品を確認する

付属品を確認してください。

ペーパーホルダー
(ピンク) (1)



ペーパーホルダー
(ブルー) (1)



電源コード (1)



3極→2極変換プラグ (1)

USBケーブル 1-824-211-41 (SONY) (1)

ご使用になる前に (1)

クイックガイド (1)

CD-ROM (1)

ソフトウェア使用許諾書 (1)

保証書 (1)

クリーニングリボン (1)

セールス会社窓口のしおり (1)

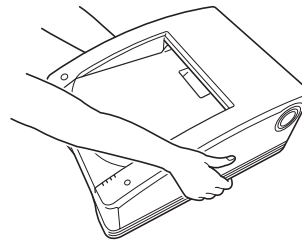
European Representative (欧州代理人) (1)

ご注意

梱包箱や緩衝材は、プリンターの移動や輸送の際に必要です。捨てずに保管することをお勧めします。

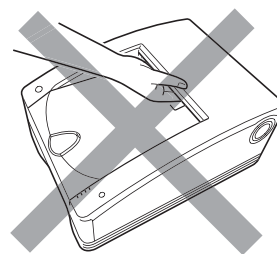
本機の持ちかた

本機を持つときは、下図のように側面を両手で持ってください。



ご注意

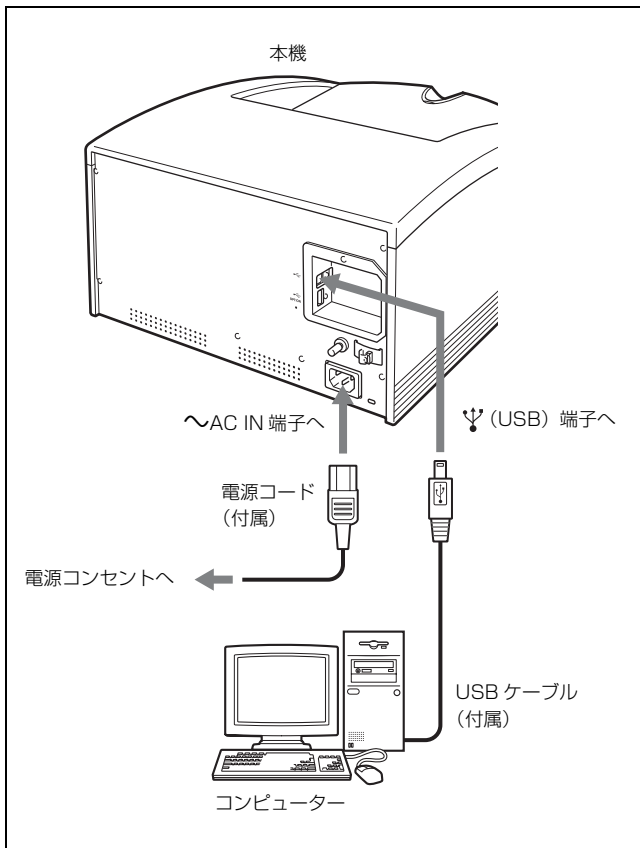
下図のように持たないでください。



コンピューターと接続する

USB ケーブル（付属）でプリンターとコンピューターを接続し、電源コードも接続します。接続機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

接続する



警告

この機器のコネクターは絶縁されていません。ご使用にあたっては、IEC 60601-1 に適合した機器以外の接続は禁止します。

交流電源で動作する IT 機器や AV 機器を接続されると、接続した機器から漏洩電流が流入し、患者や操作者に対して感電の危険があります。

やむを得ずご使用になる場合は、IT 機器や AV 機器側の電源に絶縁トランスを接続して絶縁を行うか、接続ケーブル間にアイソレーターを接続し絶縁を行うことにより、システムとして IEC 60601-1 に適合できるレベルに感電のリスクが充分低減されていることを確認してからご使用ください。

電源について

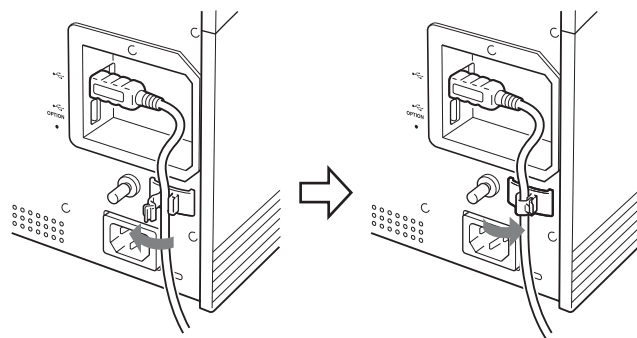
コンセントが 2 芯の場合は、コンセント側の電源プラグに付属の 3 極→2 極変換プラグを装着してください。このとき、変換プラグに付いている緑色のアース線を必ず建物のアース端子に接続してください。

3 極 → 2 極変換プラグをご使用になる場合のご注意

アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントへ接続する前に行ってください。アースの接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

USB ケーブルを固定するには

誤ってケーブルを引っ張っても抜けないように、USB ケーブル接続後、ケーブルクランプに通して固定することをお勧めいたします。



ご注意

- ・ コンピューターの説明書も併せてご覧ください。
- ・ USB ケーブルのコネクターは最後までしっかり差し込んでください。
- ・ 付属のプリンタードライバーは、ネットワーク経由での使用には対応していません。
- ・ ハブを使用した USB 接続をする場合は、動作を保証いたしません。

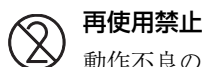
コンピューターにプリンタードライバーをインストールする

プリンターとコンピューターを接続した後、プリンターの電源を入れます。インストールのしかたについては、付属の CD-ROM に格納されているインストールガイド、および ReadMe ファイルをお読みください。

プリントする前に

ここでは、プリンターの接続（14 ページ）が終了した後、実際のプリントを始める前の準備として、プリント紙およびインクリボンの取り付けについて説明します。

インクリボンとプリント紙の取り扱いについて



再使用禁止

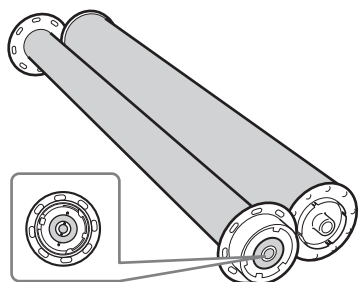
動作不良の原因となり、印刷結果に悪影響を与えます。

使用可能なインクリボンとプリント紙について

- ・必ず本機専用のインクリボンとプリント紙をお使いください。
- ・インクリボンとプリント紙は同じ箱に入っているものを必ずセットでお使いください。プリントパックにはインクリボンが2巻、プリント紙が2巻入っています。
- ・使用できるインクリボンとプリント紙について詳しくは「使えるインクリボンとプリント紙」（25 ページ）を参照してください。

インクリボンの取り扱いについて

- ・インクリボンは、プリンター本体に取り付けるまで、2つのスプールのかみ合わせをはずさないでください。
- ・片方のスプールには IC 基板が組み込まれています。IC 基板の端子部には手や金属などで触れないでください。また、強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。そのインクリボンが使用できなくなる場合があります。



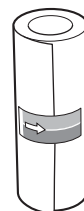
IC 基板

- ・使用済みのインクリボンを再度使用しないでください。
- ・インクリボンを巻き戻して使用しないでください。

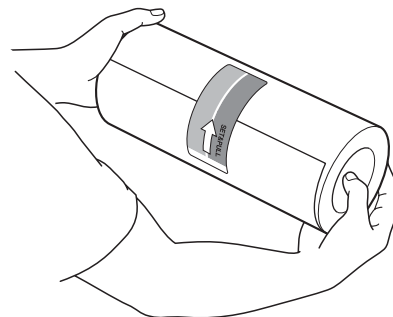
- ・インクリボンは、表面に触れたりほこりの多いところに置かないでください。手あかやほこりが付着すると、プリント画が汚れたり、サーマルヘッドの故障の原因になることがあります。
- ・インクリボンの色素は他の色素と同様に年月の経過により変化しますが、その点についての補償、代償はご容赦ください。

プリント紙の取り扱いについて

- ・プリント紙を開封するときは、縦置きにして、安定したところに置いて開封してください。手に持ったまま開封したり、横置きで開封したりすると、落下してけがの原因となることがあります。
- ・カッターなどの刃物を使っての開封はおやめください。プリント紙やインクリボンに傷がつき、印画できなくなることがあります。
- ・プリント紙を置くときは、下図のように縦置きにしてください。横に置くと回転して落下し、けがの原因となることがあります。



- ・プリント紙は両手でしっかりお持ちください。落したりするとけがの原因となることがあります。また、ゴミなどが付き、使用できなくなることがあります。



両手でしっかり持つ

インクリボンとプリント紙の保存上のご注意

- ・温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところ、直射日光の当たるところでの保存は避けてください。
- ・開封後はできるだけ早くご使用ください。
- ・使用途中で長期間保存する場合は、製品が入っていた袋に入れて保存することをお勧めします。

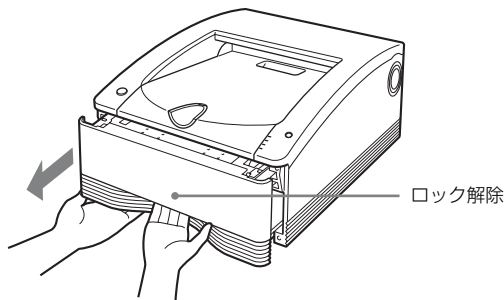
インクリボンとプリント紙を取り付ける

初めてプリンターをお使いになる場合は、まずプリント紙およびインクリボンを取り付けてください。

注意

機器内部の回路と患者を同時にさわらないでください。本機の故障時に患者に悪影響を与える電圧が発生する可能性があります。

- 1 プリンターが動作していないことを確認して、メディアトレイを引き出す。
下図のようにメディアトレイの下部に指をかけ、もう片方の手でトレイの下側を支えながら、手前に引き出します。

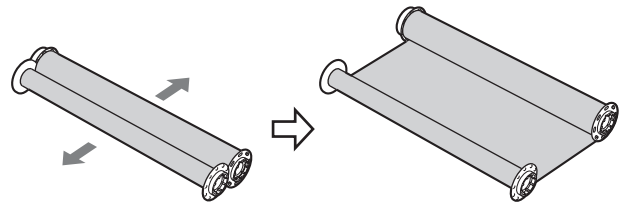


メディアトレイは、収納時にはプリンターにロックされています。図の指をかけている部分に、ロックを解除するレバーがあり、指でレバーを引くとロックが解除されます。

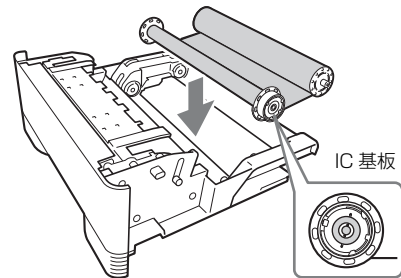
ご注意

- ・ TRAY LOCK ランプ点灯中はメディアトレイを引き出さないでください。破損の原因となります。
- ・ メディアトレイを引き出す時は、落とさないように注意してください。落としたりすると、けがの原因になることがあります。メディアトレイの出し入れの際は、取っ手の部分を持ち、もう片方の手でメディアトレイの下部を支えながら、両手でしっかりお持ち下さい。
- ・ メディアトレイは、半分引き出した状態で放置しないでください。作業する場合は完全にプリンターから引き出してください。
- ・ 引き出したメディアトレイは、安定した場所に置き作業してください。
- ・ メディアトレイは、ほこりの多い場所に置かないでください。プリント画にすじや傷が入ったり、サーマルヘッドの故障の原因になることがあります。

- 2 インクリボンの2つのスプールを離す。

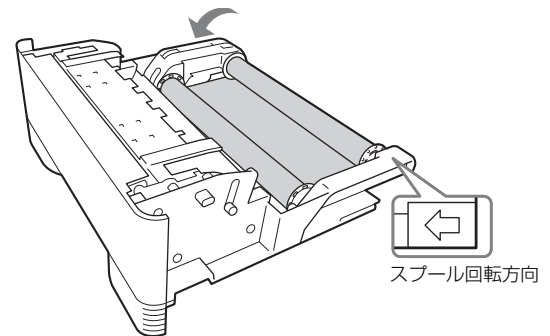


- 3 インクリボンをメディアトレイに取り付ける。
インクリボンのIC基板が下図の位置になるように、メディアトレイに取り付けてください。

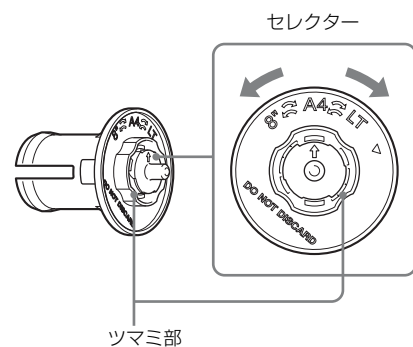


ご注意

取り付けしたインクリボンにたるみがある場合は、矢印の方向にスプールを回転させてインクリボンのたるみを取ってください。



- 4 ペーパーホルダー（ブルー）のセクターをセットする。
プリント紙のサイズに合わせて、ペーパーホルダー（ブルー）のセクターのつまみ部を回してセットしてください。



セクターとプリント紙は下記の組み合わせとなります。

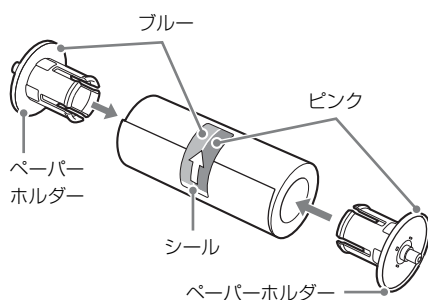
- ・ A4 (A4用) : UPC-R80MD
- ・ LT (レター用) : UPC-R81MD
- ・ 8" (8インチ幅用) : 使用しません。

ご注意

セクターをセットする際は、刻印されている紙サイズの範囲以上に回さないでください。故障の原因になります。

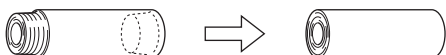
5

ペーパーホルダーをプリント紙に取り付ける。
ピンクのペーパーホルダーとブルーのペーパーホルダーがプリンターに付属しています。プリント紙の中央に付いているピンクとブルーのシールの色にペーパーホルダーの色を合わせ、下図のように取り付けてください。

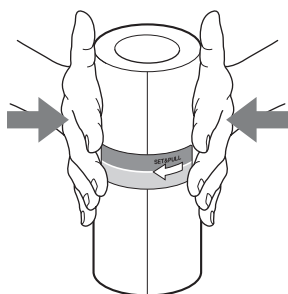


ご注意

・ 用紙の端が揃っていない場合は、折り曲げないように注意して端を平らに揃えてから取り付けてください。そのまま取り付けると、故障の原因となる場合があります。



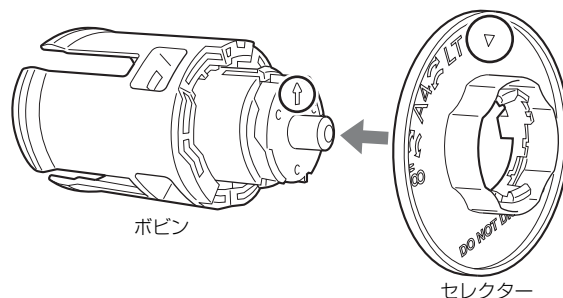
- ・ 用紙を硬いものにつけたり、強くつかまないと、用紙が折れたり曲がったりして、プリントの品質に影響が出ることがあります。
- ・ プリント紙をプリンターにセットする際、プリント紙にペーパーホルダーを差し込みにくい場合は、プリント紙を両側から押して、円形に直してからお使いください。



- ・ ペーパーホルダーはきちんと奥まで差し込んでください。

ペーパーホルダーのセクター部がはずれたときはペーパーホルダー（ブルー）を落とすと、セクター部がはずれることがあります。この場合は次の手順で組み立ててください。

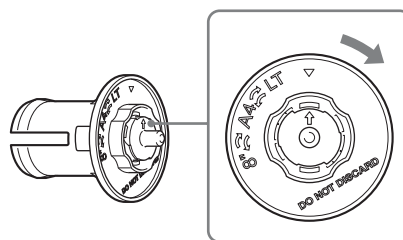
- ① セクターを下図のようにボビン部に入れ、セクターの▼マークとボビンの矢印を合わせてはめ込む。
ボビンの矢印の凹部にセクターのツメがはまります。



ご注意

セクターのツメは▼マークとその対面の2か所にあります。▼マークの反対側のツメをボビンの矢印の凹部にはめ込むと、ペーパーホルダーが破損する恐れがあります。

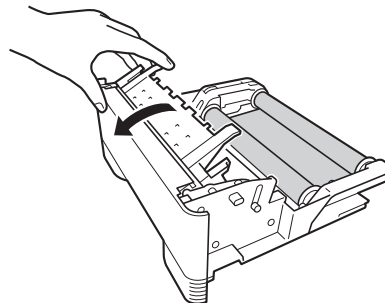
- ② セクター部を下図の矢印の方向に「カチッ」と音がして固定されるまで回す。



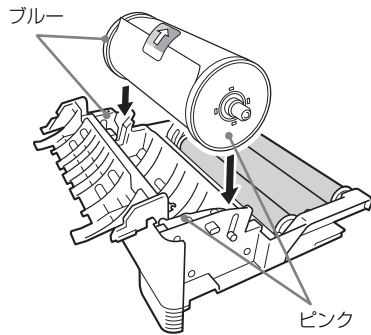
6

プリント紙をメディアトレイに入れる。

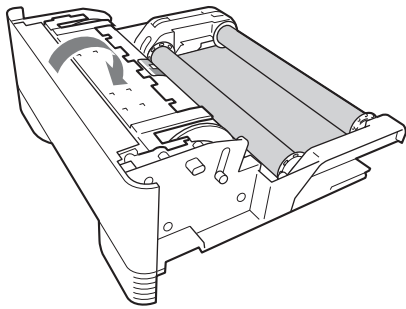
- ① メディアトレイの蓋を開ける。



- ② シールの矢印をインクリボン側に向けて、プリント紙をメディアトレイにセットする。
 プリント紙にセットしたペーパーホルダーの色と、メディアトレイの色を合わせると、正しい向きでプリント紙をセットできます。



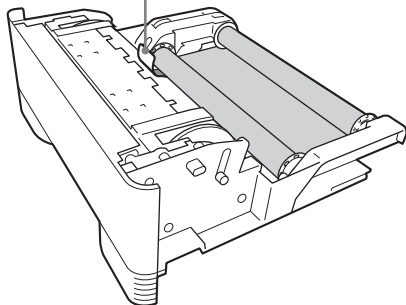
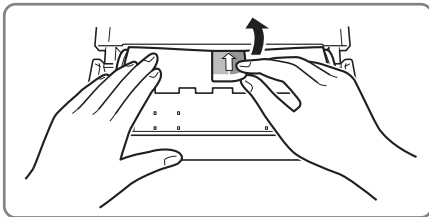
- ③ メディアトレイの蓋をパチッと音がするまで閉める。



ご注意

プリント紙を取り付けた後は、プリント面（プリント紙の内側の面）に触れないでください。指紋や汗、折り目が付くと、プリントの品質に影響が出ることがあります。

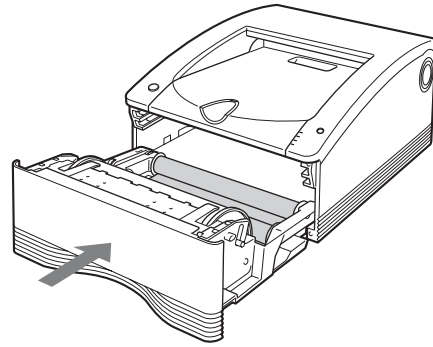
- 7 プリント紙の中央にあるシールを矢印方向にゆっくりはがす。



ご注意

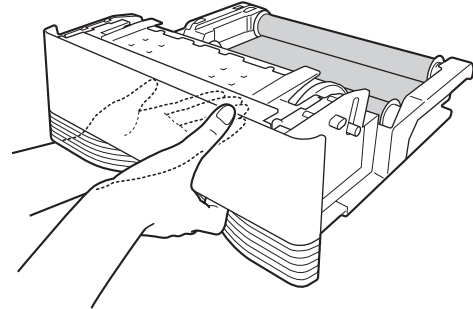
シールは完全にはがしてください。また、シールはゆっくりはがさないとプリント紙に糊が残る場合があります。シールがプリンター内に残ると、故障の原因となることがあります。

- 8 メディアトレイをプリンターに挿入する。
 メディアトレイは、カチッと音がするまでしっかりと挿入してください。



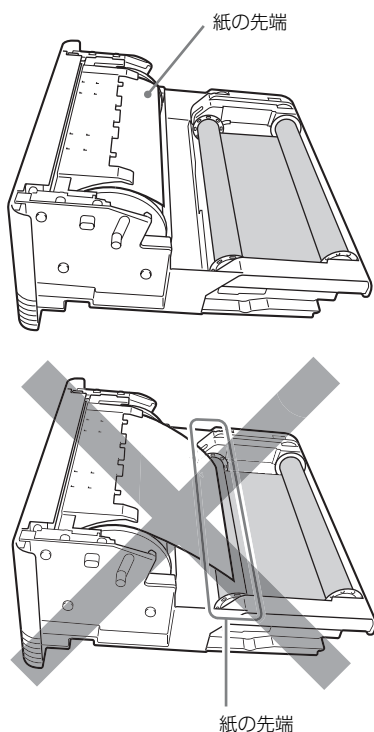
ご注意

・プリント紙・インクリボンが装着されたメディアトレイを落とすとけがの原因になることがあります。メディアトレイの下側を支えながら、両手でしっかりと持ちください。



・蓋を閉める前にシールをはがすと故障の原因になります。

- 紙の先端がインクリボンにかかっている場合は巻き直してください。紙の先端がインクリボンにかかると故障の原因になります。



インクリボンが途中で切れてしまったときは

透明なセロハンテープなどでつなげば、残りのリボンを使うことができます。

インクリボンとプリント紙を交換する

所定枚数のインクリボンまたはプリント紙を使い切ったときは、以下の手順で新しいインクリボンとプリント紙に交換してください。

ご注意

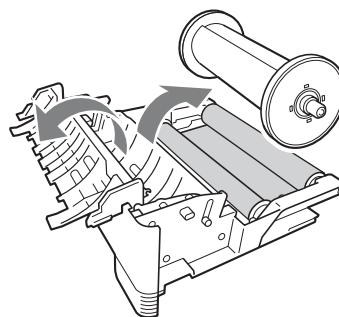
- インクリボンとプリント紙は必ず同時に交換してください。
- インクリボンとプリント紙は余分に巻いてあります。インクリボンとプリント紙が余っていても、新しいインクリボンとプリント紙を取り付けてください。残りのインクリボン、プリント紙を使用すると故障の原因になります。

- 1 TRAY LOCK ランプが消灯していることを確認して、メディアトレイを引き出す。

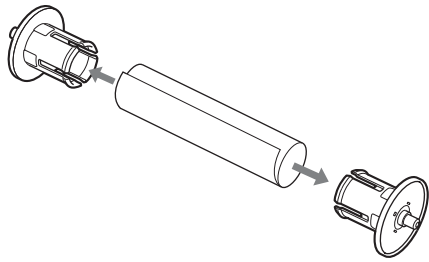
ご注意

- メディアトレイが引き出せない場合には無理に引き出さず、**⏻** オン/スタンバイスイッチを押してスタンバイ状態にしてから、再度 **⏻** オン/スタンバイスイッチを押して電源を入れ、プリンターの初期化を行ってから再試行してください。
- プリント終了後は、サーマルヘッドが高温になっています。メディアトレイを引き出すときに、サーマルヘッドに触れるとやけどの原因になることがあるのでご注意ください。また、サーマルヘッドを傷つけないよう注意してください。

- 2 メディアトレイの蓋を開け、プリント紙を取りはずす。



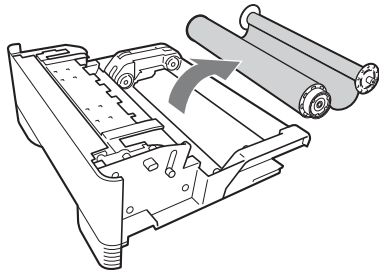
3 プリント紙からペーパーホルダーを抜き取る。



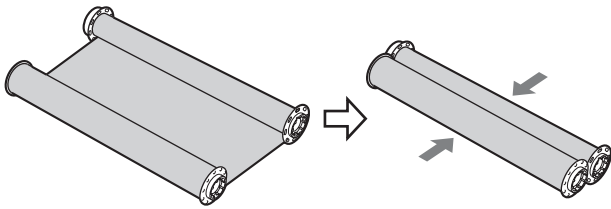
ご注意

抜き取ったペーパーホルダーは繰り返し使用します。捨てないでください。

4 インクリボンを取りはずす。



取りはずしたインクリボンは、一方のスプールをもう一方のスプールにはめ込みます。

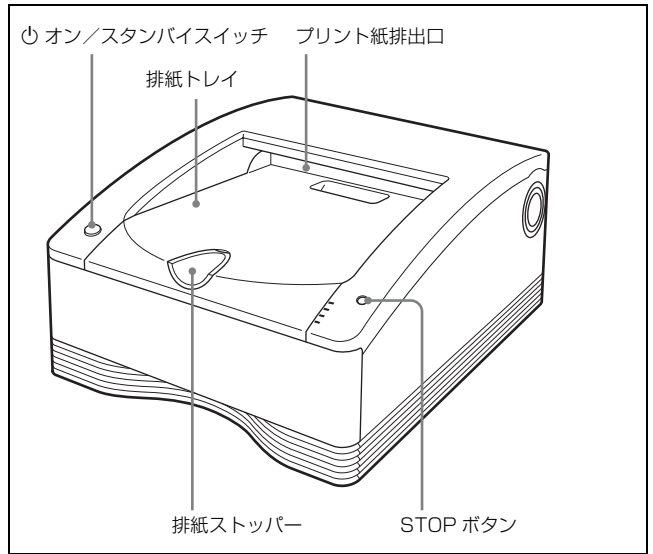


5 新しいインクリボンとプリント紙を取り付ける。 取り付けかたは、「インクリボンとプリント紙を取り付ける」の手順2以降（16ページ）を参照してください。

プリントする

プリントを始める前に


- ・プリンターとコンピューターなどの接続は済んでいますか。（14 ページ）
- ・プリンタードライバーはインストールされていますか。（14 ページ）
- ・メディアトレイは正しく取り付けられていますか。（16 ページ）




- 1 プリンターの **⏻** オン/スタンバイスイッチを押して、プリンターの電源を入れる。
⏻ オン/スタンバイランプが点灯し、プリンターの初期化が始まります。
プリンターの初期化中は、PRINT ランプ、ALARM ランプ、RIBBON/PAPER ランプ、TRAY LOCK ランプも同時に点灯し、初期化が完了すると消灯します。
- 2 コンピューターの電源を入れる。
- 3 コンピューターからプリント操作を行う。
画像データの受信中は、PRINT ランプが点滅します。
プリント中は、PRINT ランプが点灯します。

ご注意

- ・排紙トレイ上には、プリント動作の障害となる物を置かないでください。故障の原因になります。
- ・プリント中にプリント紙排出口から用紙が見えますが、途中でプリント紙にさわらないでください。故障の原因になります。
- ・排紙トレイには、プリント画を 10 枚以上ためないようにしてください。紙づまりの原因になります。

- ・プリント中に  オン/スタンバイスイッチを押してスタンバイ状態にしないでください。紙づまりやインクリボン切れの原因になります。
- ・プリント中にメディアトレイを引き出さないでください。

メディアトレイを引き出すとプリントが中止され、PRINT ランプ、ALARM ランプ、RIBBON/PAPER ランプ、TRAY LOCK ランプが同時に点灯します。この場合はいったん  オン/スタンバイスイッチを押してスタンバイ状態にしてから再び ON にし、紙づまりやインクリボン切れがないかを確認してください。また、途中まで印刷が行われている場合は、プリント紙の使用済みの部分をはさみなどで切り取ってからお使いください。

ご注意

プリント画を保存するときは

- ・直射日光の当たるところや、温度や湿度の高いところに置かないでください。退色する場合があります。
- ・プリント画に粘着テープをはったり、プリント画を消しゴムやデスクマットなどの可塑性を含むものに触れさせないでください。
- ・プリント画にアルコールなどの揮発性有機溶剤をこぼさないようにしてください。

連続プリントをキャンセルするときは

STOP ボタンを押します。現在プリント中のものが終了し、排出されるとプリンターは印刷可能状態になります。

プリントできないときは

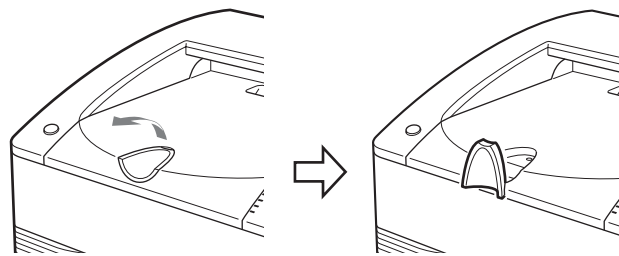
ALARM ランプ、RIBBON/PAPER ランプおよび TRAY LOCK ランプが点灯しているときは、操作はできません。詳しくは、「本体ランプ表示について」(28 ページ)をご覧ください。

連続プリント中にインクリボンがなくなったときは

プリンターはプリント動作を終了します。新しいインクリボンを設定すると自動的にプリント動作が再開し、残りの画像がプリントされます。

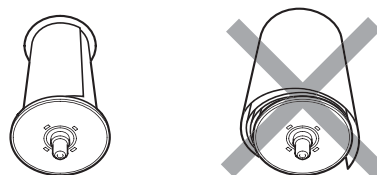
排紙ストッパーの使いかた

排紙されたプリント画が排紙トレイから落ちるのを防ぐときに、排紙ストッパーの先端の溝に指をかけて、下図の矢印の方向に立てます。



セットされているプリント紙を途中で取り出し、再度セットする場合

プリント紙が巻き緩んでいるときは、巻き直してからセットしてください。





ご注意

プリント紙を途中で取りはずすときは、引き出したメディアトレイを安定した場所に置いてから作業してください。プリント紙がセットされたメディアトレイを落としたりすると、けがの原因になることがあります。


メディアトレイの出し入れの際は、取っ手の部分を持ち、もう片方の手でメディアトレイの下部を支えながら、両手でしっかりお持ちください。

本機の性能を保持するために

本機の性能を保持するために、「安全のために」(2 ページ)、「 警告」(4 ページ)、「 注意」(5 ページ)と併せてご覧ください。

使用上のご注意

長い間ご使用にならないときは

- ・ 本体の  オン/スタンバイスイッチを押してスタンバイ状態にし、電源コードをコンセントから抜いてください。
- ・ プリントパックを使用途中で保存する場合は、製品の入っていた袋に戻して密封し、なるべく冷暗所にて保存してください。再度使用する場合には、水滴が付かないように、部屋の温度になじませてから開封して、使用してください。

輸送するときは

プリンターを輸送する際は、付属品、およびインクリボンやプリント紙を必ず取りはずしてください。付属品をつけたまま持ち運ぶと故障の原因になることがあります。取りはずしたインクリボンとプリント紙は製品が入っていた袋に入れて保存することをお勧めします。

結露について

- ・ 湿度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたち込めた部屋に置くと、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。この状態で本機を使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。
- ・ 冬の寒い部屋から急に暖かい部屋にプリントパックを持ち込むと、インクリボンやプリント紙に水滴がつくことがあります。そのまま使用すると、プリンターの故障の原因になる場合があります。また、一度水滴が付いたプリントパックを使用すると、プリント画像にシミなどが現れることがありますので、急激な温度変化は避けてご使用ください。


置き場所について

プリンター内部の温度上昇を防ぐために、プリンター周囲はスペースを十分に空けてください(10 cm 以上)。特に、プ

リンター左右側面の吸気孔と裏面にある排気孔の間を空気が十分に流れるように注意して設置してください。

お手入れ

ご注意

お手入れの際は、必ず  オン/スタンバイスイッチを押してスタンバイ状態にして電源プラグを抜いてください。

キャビネットが汚れたら

キャビネットの汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふきとってください。このあと乾いた布でからぶきしてください。

シンナーやベンジン、無水アルコール、化学ぞうきんなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

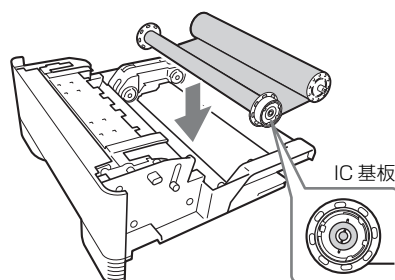
プリンター内部のクリーニング

万が一、プリント画にすじやキズが入った場合はサーマルヘッドのクリーニングを、等間隔のキズが入った場合はローラー類のクリーニングを実施してください。

サーマルヘッドのクリーニング

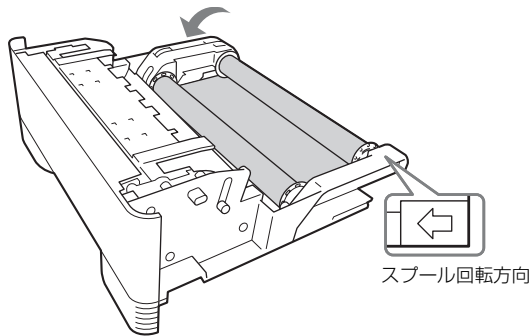
プリント画の品質を維持するために、月に1度、またはプリント紙10パック程度を目安に定期的にサーマルヘッドをクリーニングすることをお勧めします。

- 1 プリンターが動作していないことを確認して、メディアアトレイを引き出す。
- 2 プリント紙が入っていることを確認する。
- 3 インクリボンを取りはずす。
取りはずし方は「インクリボンとプリント紙を交換する」の手順4を参照してください。(20 ページ)
- 4 クリーニングリボンを取り付ける。
取り付け方は「インクリボンとプリント紙を取り付ける」(16 ページ)の手順2、3を参照してください。



ご注意

取り付けたクリーニングリボンにたるみがある場合は、矢印の方向にスプールを回転させてクリーニングリボンのたるみを取ってください。



- 5 メディアトレイをプリンターに挿入する。
TRAY LOCK ランプが点灯し、その後プリンターの初期化が完了すると、RIBBON/PAPER ランプが点滅し、クリーニングが自動的に開始されます。クリーニングが終了すると、使用したプリント紙が排紙され、点灯していた TRAY LOCK ランプが消灯します。

ローラー類のクリーニングを行う場合は、次項の「ローラー類のクリーニング」(23 ページ)に進んでください。
ローラー類のクリーニングを行わない場合は以下に進んでください。

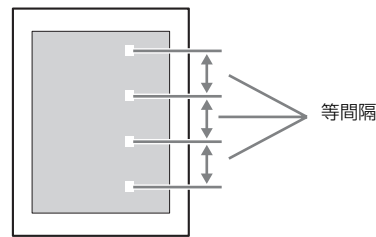
- 6 TRAY LOCK ランプが消灯していることを確認して、メディアトレイを引き出す。
- 7 クリーニングリボンを取りはずす。
- 8 インクリボンを取り付ける。
- 9 メディアトレイをプリンターに挿入する。

ご注意

- ・クリーニングリボンは、ほこりのないところ(袋などにいれて)に保管してください。
- ・クリーニングリボン着脱の際は、引き出したメディアトレイを安定した場所に置いてから作業してください。
- ・プリント紙がセットされたメディアトレイを落としたりすると、けがの原因になることがあります。メディアトレイの出し入れの際は、取っ手の部分を持ち、もう片方の手でメディアトレイの下部を支えながら、両手でしっかりお持ちください。

ローラー類のクリーニング

ごくまれに、プリント画に下図のような等間隔のキズが現れることがあります。この現象はプリンター内部のローラー類にゴミが付着したことによって生じます。この場合はローラー類のクリーニングが必要です。



クリーニングシート*を使用することで、プリンター内部のローラー類に付着したゴミを除去できます。

*クリーニングシート (Cleaning Sheet 80) はプリントパックの付属品です。別途クリーニングシートが必要な場合は、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。
(クリーニングシートパック (10 シート) A-1737-055-)

クリーニングの手順を下記に説明します。

ご注意

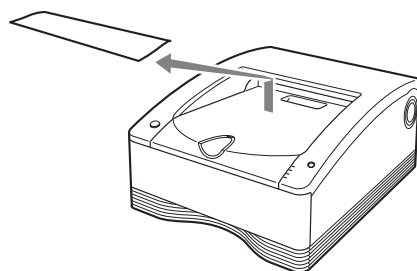
- ・ローラー類のクリーニングは、サーマルヘッドのクリーニングを終えた後、クリーニングリボンが挿入されたままの状態から続けて行います。
- ・キズのあるプリント紙は、排紙された向きのまま手元に残しておいてください。キズの位置の確認に必要です。
- ・ローラークリーニング1回につきクリーニングシートは1枚だけの使用にしてください。同時に2枚以上使用すると故障の原因になります。

- 1 サーマルヘッドのクリーニングを行っていない場合は「サーマルヘッドのクリーニング」(22 ページ)の手順1~5を行う。

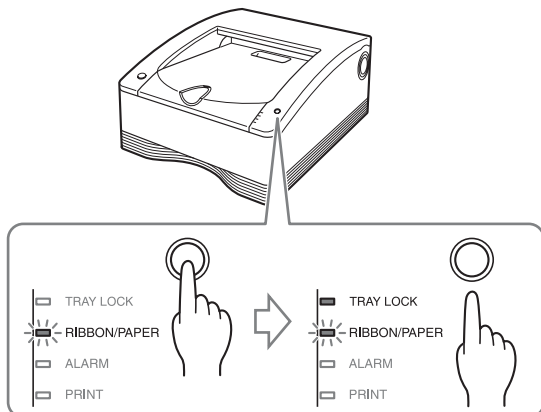
ご注意

ローラー類のクリーニングを行うには、サーマルヘッドのクリーニングが終了してもメディアトレイを引き出さないでください。

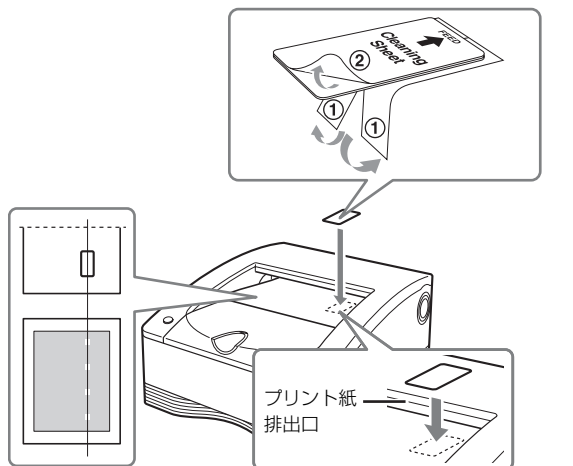
- 2 サーマルヘッドのクリーニングによって排紙されたプリント紙を取り除く。



- 3** STOP ボタンを押し続け、TRAY LOCK ランプが点灯したら指を離す。
プリント紙が自動的に給紙され、プリント紙排出口から約 20 cm 排出されたところで停止します。



- 4** 排出されているプリント紙に、クリーニングシートの剥離紙①を剥がし貼り付ける。その後、剥離紙②を剥がす。

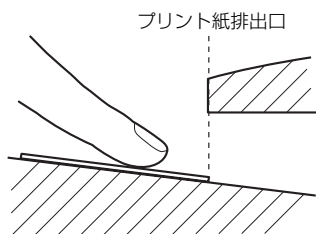


プリント画に現れた傷の位置と同じ位置に、縦にまっすぐ貼り付ける。

クリーニングシートの奥の端がプリント紙排出口の下に位置するように貼り付ける。

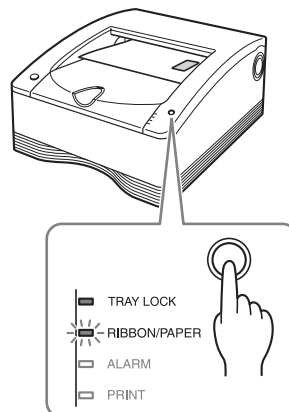
ご注意

- ・キズが付いたプリント紙の排紙方向と同じ向きで、キズとクリーニングシートの位置を合わせてください。
- ・クリーニングシートは、指で押して全面をしっかり貼り付けてください。



- ・クリーニングシートに空気が入っていたり、粘着面四隅の浮き、めくれがないようにしてください。紙づまりの原因になります。
- ・クリーニングシートに空気が入っている場合は、空気を押し出してください。

- 5** STOP ボタンを押す。
クリーニングシートによるローラー類のクリーニングが開始します。



クリーニングが終わるとプリント紙が排紙され、点灯していた TRAY LOCK ランプが消灯します。

ご注意

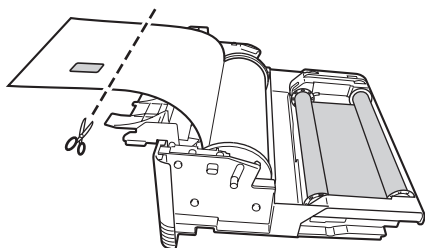
- ・クリーニングシートは、プリント紙とともに排紙されます。再利用せず、プリント紙ごとに取り除いてください。
- ・もう一度ローラー類のクリーニングを実施するときは、手順3から繰り返してください。
- ・エラーが発生したときには、手順1からやり直してください。

- 6** TRAY LOCK ランプが消灯していることを確認して、メディアトレイを引き出す。
- 7** クリーニングリボンを取りはずす。
- 8** インクリボンを取り付ける。
- 9** メディアトレイをプリンターに挿入する。
これでクリーニングは完了です。

ご注意

- ・クリーニングにはプリント紙を使用しますので、同じプリント紙で何度もクリーニングを実施すると、印画可能枚数に満たない場合があります。
- ・プリント紙の長さが足りない場合は、クリーニングが終了してもプリント紙がペーパーホルダーに収納されてしまい、排紙されません。新しいプリント紙に交換してください。

- ・プリント紙の長さが足りていても排紙されない場合は、ペーパーホルダーに収納されているクリーニングシートの付いたプリント紙を切り取り、再度手順2から繰り返してください。



使えるインクリボンとプリント紙

ラミネートカラープリントパック UPC-R80MD

カラーのインクリボン2巻と、A4幅のプリント紙が2巻入っています。

ラミネートカラープリントパック UPC-R81MD

カラーのインクリボン2巻と、レターサイズ幅のプリント紙が2巻入っています。

印画可能枚数について

インクリボン1巻とプリント紙1巻のセットで印画可能な枚数は以下のとおりです。

プリントパック	UPC-R80MD	UPC-R81MD
印画枚数	50 画面	50 画面
印画サイズ	A4	レター

ご注意

- ・インクリボンやプリント紙を使用途中で交換しないでください。インクリボンやプリント紙を途中で交換した場合、トラブルを起こす可能性があります。上記の印画可能枚数は、保証の限りではありません。
- ・インクリボンがなくなったら、インクリボンと同時にプリント紙も交換してください。

主な仕様

電源	AC100 V、50/60 Hz
入力電流	3.4 A
動作温度	5℃～35℃
動作湿度	20%～80%（ただし結露がないこと）
動作気圧	700 hPa～1,060 hPa
保管／輸送温度	-20℃～+60℃
保管／輸送湿度	20%～80%（ただし結露がないこと）
保管／輸送時気圧	700 hPa～1,060 hPa
最大外形寸法	約 317 × 425 × 207 mm（幅／奥行き／高さ）最大突起部含まず。
質量	約 11.5 kg
プリント方式	昇華熱転写型、YMC 3色重ね印画
感熱ヘッド	11.83 ドット/mm、2,560 ドット（301 dpi）
プリント階調	YMC 各色 8 ビット（256 階調）処理（イエロー、マゼンタ、シアン）
最大プリントサイズ	A4 サイズ：202 × 287 mm レターサイズ：208 × 269 mm
プリント画素数	A4 サイズ：2,392 ドット × 3,400 ドット レターサイズ：2,464 ドット × 3,192 ドット
プリント時間	約 76 秒（A4 サイズ） 約 72 秒（レターサイズ）
インターフェース	Hi-Speed USB（USB 2.0）
付属品	ペーパーホルダー（ピンク）（1） ペーパーホルダー（ブルー）（1） クリーニングリボン（1） 電源コード（1） 3 極→2 極変換プラグ（1） USB ケーブル 1-824-211-41（SONY）（1） ご使用になる前に（1） クイックガイド（1） CD-ROM（1） ソフトウェア使用許諾書（1） 保証書（1） セールス会社窓口のしおり（1） European Representative（欧州代理人）（1）

注意

付属の電源コードは本機の専用品です。
他の機器には使用できません。

別売り品	インクリボン／プリント紙 ラミネートカラープリントパック UPC-R80MD ラミネートカラープリントパック UPC-R81MD ワイヤレスプリントシステム UPA-WU10 ¹⁾
------	---

¹⁾ 2016 年 5 月現在、EU および EFTA 圏、アメリカ合衆国、カナダ、日本にて使用可能です。

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

安全に関する仕様

電撃に対する保護の形式：

クラス I

水の浸入に対する保護等級：

0 級（特に保護がされていない）

可燃性麻醉剤の点火の危険に対する保護：

空気、酸素または亜酸化窒素と混合した可燃性麻醉ガスが存在する環境での使用には適していません。

作動モード：

連続

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- ・ お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。本機や付属のソフトウェア、記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により正常に動作しなかった場合のプリント結果や記録データの補償については、ご容赦ください。
- ・ 故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも調子の悪いときはサービスへ

お買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

故障とお考えになる前に

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店にご相談ください。

症状	原因/処置
コンピューターから画像を転送してもプリントしない。	<ul style="list-style-type: none">・プリンターがスタンバイ状態（\odot オン/スタンバイランプが消灯している）になっています。 → \odot オン/スタンバイスイッチを押してください。・接続が正しくされていません。 → 接続を確認してください。(14 ページ)
プリントできない。	<ul style="list-style-type: none">・本体のランプにエラー状態が表示されています。 → 「本体ランプ表示について」(28 ページ) をご覧になって、適切な対処を行ってください。
プリント紙がメディアトレイにセットできない。	<ul style="list-style-type: none">・ペーパーホルダーの色とメディアトレイの色を間違えて取り付けています。 → ペーパーホルダーの色とメディアトレイの色を合わせて取り付けてください。(18 ページ)
プリント紙が給紙されない。	<ul style="list-style-type: none">・ペーパーホルダーとプリント紙に貼ってあるシールの色を間違えて取り付けています。 → ペーパーホルダーの色とプリント紙に貼ってあるシールの色を合わせて取り付けてください。(17 ページ)・プリント紙を左右逆にセットしています。(プリント紙再取り付け時) → 正しい向きにセットしてください。(18 ページ)・ペーパーホルダーのセレクターがプリント紙のサイズと合っていません。 → 正しく設定してください。(16 ページ)・プリント紙に貼ってあるシールが剥がれていません。 → 正しく剥がしてください。(18 ページ)・プリント紙の巻きが緩んでいます。 → プリント紙を巻き直してからセットしてください。(21 ページ)・プリント紙の先端が折れています。 → プリント紙の折れた部分をはさみなどで切りとり、まっすぐにしてください。(30 ページ)
印画エリアがずれて印刷される。	<ul style="list-style-type: none">・ペーパーホルダーのセレクターがプリント紙のサイズと合っていません。 → 正しく設定してください。(16 ページ)
印画面にキズ、スジが入る。	<ul style="list-style-type: none">・サーマルヘッドが汚れています。 → サーマルヘッドをクリーニングしてください。(22 ページ)

症状	原因／処置
等間隔のキズが入る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ プリンター内部のローラー類にゴミが付着しています。 → ローラー類のクリーニングを行ってください。(23 ページ)
メディアトレイが引き出せない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ プリンターの動作中に電源を切った可能性があります。 → Ⓞ オン/スタンバイスイッチを押してプリンターの電源を入れ、プリンターを初期化してください。 ・ エラーから復帰できなかった可能性があります。 → Ⓞ オン/スタンバイスイッチを押してスタンバイ状態にしてから再度 Ⓞ オン/スタンバイスイッチを押して電源を入れてください。それでも引き出せない場合は、Ⓞ オン/スタンバイスイッチを押してスタンバイ状態にしてから、電源コードを抜き、お買い上げ店にご連絡ください。
プリンターが印刷可能状態時にファンが回ることもある。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 温度コントロールをしており、問題はありません。

本体ランプ表示について

プリンター本体の各ランプの点灯・点滅の意味は以下のとおりです。

ランプ	状態	原因と対策
Ⓞ オン/スタンバイ (緑)	点灯	起動状態。
TRAY LOCK (オレンジ)	点滅	スタンバイ状態に移行中。
TRAY LOCK (オレンジ)	点灯	<ul style="list-style-type: none"> ・ メディアトレイを引き出すことができない状態です。 → メディアトレイを引き出さないでください。
RIBBON/PAPER ^リ (オレンジ)	点灯	次のいずれかの原因です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ プリント紙がセットされていません。 → プリント紙をセットしてください。(17 ページ) ・ インクリボンがセットされていません。 → インクリボンをセットしてください。(16 ページ) ・ インクリボンがなくなりました。 → 新しいインクリボンとプリント紙をセットしてください。(19 ページ) ・ リボンエラーが発生しました。 → インクリボンが正しくセットされているか確認してください。 ・ プリント紙のサイズが違います。 → ペーパーホルダーのセレクターを正しくセットしてください。(16 ページ)
	点滅	次のいずれかの原因です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ サーマルヘッドまたはローラー類のクリーニング中。 ・ ローラー類のクリーニングの開始待ち状態。 → STOP ボタンを押して開始してください。 ・ クリーニングリボンがセットされています。 → クリーニングリボンを取り出ししてください。

ランプ	状態	原因と対策
ALARM ¹⁾ (オレンジ)	点灯	次のいずれかの原因です。 <ul style="list-style-type: none"> ・メディアトレイが閉まっています。 →メディアトレイを確実に閉めてください。 ・プリンター内部で紙づまりが発生しました。 →詰まった紙を取り除いてください。(30ページ) ・排紙トレイの上にプリント画がたまっています。 →たまったプリント画を取り除いてください。
RIBBON/ PAPER、 ALARM ¹⁾	点灯	次のいずれかの原因です。 <ul style="list-style-type: none"> ・プリント紙がなくなりました。 →新しいインクリボンとプリント紙をセットしてください。(19ページ) ・給紙エラーが発生しました。 →インクリボンおよびプリント紙を確認してください。 ・排紙エラーが発生しました。 →インクリボンおよびプリント紙を確認してください。
	点滅 ²⁾	次のいずれかの原因です。 <ul style="list-style-type: none"> ・クリーニング中にリボンエラーが発生しました。 →クリーニングリボンが正しくセットされているか確認してください。 ・クリーニング中にプリンター内部で紙づまりが発生しました。 →詰まった紙を取り除いてください。(30ページ) ・クリーニング中にプリント紙がなくなりました。 →新しいプリント紙をセットしてください。 ・クリーニング中に給紙エラーが発生しました。 →クリーニングリボンおよびプリント紙を確認してください。 ・クリーニング中に排紙エラーが発生しました。 →クリーニングリボンおよびプリント紙を確認してください。
PRINT (緑)	点灯	プリント中。
	点滅	画像データの受信中です。
	ゆっくり点滅	サーマルヘッドがプリント可能な温度になるまで待機中です。プリント可能な温度になると、PRINT ランプが点灯します。

ランプ	状態	原因と対策
TRAY LOCK、 RIBBON/ PAPER、 ALARM、PRINT のすべて	点灯	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンターが初期化中。 →⏻ オン/スタンバイスイッチを押して電源を入れてから、初期化が完了するまで点灯します。初期化が完了するまでお待ち下さい。 ・プリント中にメディアトレイが引き出されました。 →⏻ オン/スタンバイスイッチを押してスタンバイ状態にしてから、再度⏻ オン/スタンバイスイッチを押して電源を入れ、インクリボンおよびプリント紙を確認してください。 ・重大な障害が発生しました。 →⏻ オン/スタンバイスイッチを押してスタンバイ状態にしてから、再度⏻ オン/スタンバイスイッチを押して電源を入れてください。それでも回復しない場合は、⏻ オン/スタンバイスイッチを押してスタンバイ状態にしてから、電源コードを抜き、お買い上げ店にご連絡ください。

1) 連続プリント中で、残りの画像がある場合は、PRINT ランプも同時に点灯します。

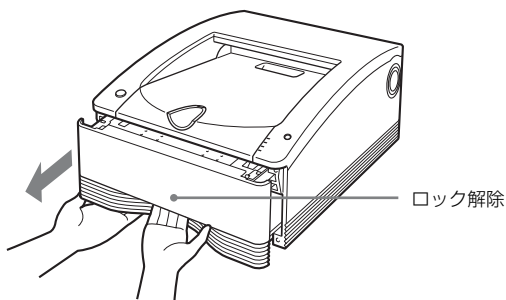
2) RIBBON/PAPER ランプのみ点滅、ALARM ランプは点灯します。

紙詰まりが起きたときは

プリント開始後に本体の ALARM ランプが点灯したり、コンピューターのモニター画面に「紙詰まりが発生しました。紙を取り除いてください。」または「紙詰まりが発生しました。印刷を中止します。紙を取り除き、もう一度印刷してください。」「モーターまたはセンサートラブルです。印刷を中止します。プリンターの電源を入れ直して、もう一度印刷してください。」というメッセージが表示された場合は、プリンター内部で紙詰まりが起きている可能性があります。

紙詰まりが発生したときは、次の手順でプリント紙の状態を確認してください。

- 1 プリンターが動作していないことを確認して、メディアトレイを引き出す。



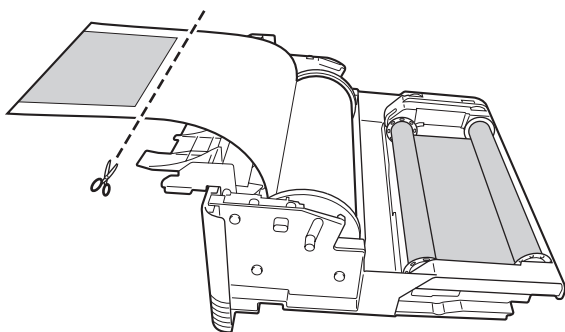
ご注意

メディアトレイが引き出せない場合には無理に引き出さず、**⏻** オン/スタンバイスイッチを押してスタンバイ状態にしてから、再度 **⏻** オン/スタンバイスイッチを押して電源を入れ、プリンターの初期化を行ってから再試行してください。

- 2 メディアトレイの蓋を開けて、プリント紙の印画面を確認し、プリント紙を切り取る。
次のように対処してください。

印画が行われている場合

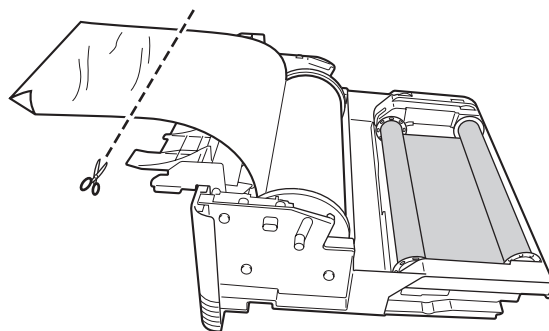
印画済みの部分をはさみなどで切り取ります。



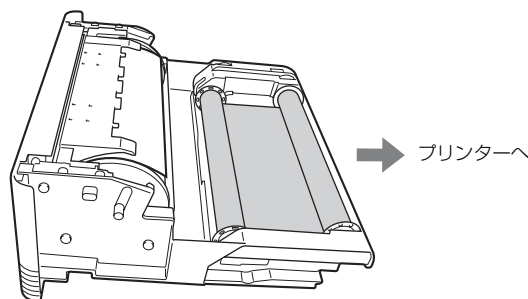
印画が行われていない場合

プリント紙の先端が折れていたり、しわになっていないか確認してください。

先端が折れている場合は紙の先端を、しわになっている場合はその部分がなくなるように、はさみなどで切り取ります。

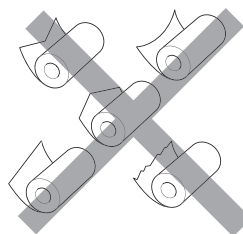


- 3 プリント紙の巻きの緩みを直し (21 ページ)、メディアトレイの蓋をパチッと音がするまで閉める。
- 4 メディアトレイをプリンターに挿入する。



ご注意

- ・ プリント紙を取りはずすときは、引き出したメディアトレイを安定した場所に置いてから作業してください。
- ・ プリント紙がセットされたメディアトレイを落としたりすると、けがの原因になることがあります。メディアトレイの出し入れの際は、取っ手の部分を持ち、もう片方の手でメディアトレイの下部を支えながら、両手でしっかりお持ちください。
- ・ プリント紙をはさみなどで切り取る際は、プリント紙の先端がまっすぐになるように切り取りってください。プリント紙の先端が下図のような状態でプリンターにセットすると故障の原因になります。



お問い合わせは

「セールス会社窓口のしおり」にある窓口へ



ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>